

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|--------------------|-----|--|--|--|-------------------|
|                    |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |  |  |  |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                           | 「自分が住みたいホーム、自分の家族を住ませたいホーム」の理念を研修にて確認しています。また定期的な会議の中でもご利用者様の意向を確認して実践につなげられるようにしています。 | 研修では利用者の言葉に耳を傾け、本人が意思決定するためには、具体的にどう支援するかを考えます。医師らの意見を参考に利用者の望む食事の提供や特定の映画の話をした利用者の誕生日にその映画を上映する等の支援をしています。              |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                           | 散歩にて公園やコンビニに出かけ、地域の方や店員の方と顔見知りになっています。   | 日常的に公園やコンビニへ散歩に出かけ、店員らと交流し地域とのつながりを維持しています。また、久しぶりに行われた夏祭りには、短時間ではあるが参加し、祭りの雰囲気やにぎわいを味わいました。                             |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                         | 管理者が地域ケア会議に出席させていただき、事業所での支援の様子などをお話する機会を持っています。                                       |  |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている      | 運営推進会議について、今年度からは対面での開催として意見を頂戴しています。また、近隣の他事業所様と合同の開催も行っています。                         | 会議には地域の代表、民生委員、地域包括、近隣のGH代表などが参加して開いています。会議では子連れの職員の子がいる職場環境について前向きな意見がでています。また、GH代表とは介護保険改定やマイナンバーカードへの対応などの意見交換をしています。 |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                | 今年度は地域包括の方からのご紹介で入居となった方がおり、また運営推進会議に在支の方が参加して頂いております。                                 | 利用者に地域包括センターからの紹介で入居した利用者があるので連携をとっています。また、運営推進会議には在宅支援センターの職員も参加しているので、そちらとも連携しています。                                    |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束・事故・ひやり検討の為に事故の集計、原因や対応策の話し合いを定期的に行っています。  | 身体拘束、事故、ヒヤリハット等について3か月に1度集計をしています。そのうち、回数が多いもの、対策を講じているが再発しているもの等について、その原因、対策を全体会議で話し合っています。その結果、下剤の飲み忘れの数が減少した例があります。   |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている      | 身体拘束・虐待についての研修をしております。事故防止の観点に偏れば身体拘束になってしまうことも考慮して、支援内容について検討しています。                   |  |                   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|-----|--|--|---|-------------------|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 管理者は厚労省が発出している「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」等のガイドラインを確認しています。   |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                        | 今年度は契約時にご本人様との関係性が希薄でご家族様が同席されないケースがありました。入居時はご本人様への説明を行い、入居後にお見えになったご家族様に追加で説明をするという対応をさせていただきました。                  |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 毎月お送りするお手紙にご本人様のお写真やご様子に関するコメントを送らせて頂くと共に電話やメール等にてコミュニケーションをとらせて頂いております。   | 運営推進会議には家族も出席していて、その家族から代表者、本社職員も直接意見を聞くことができます。子連れで出勤する職員の子どもについて利用者の明るい雰囲気作りに貢献しているとの意見を聞いています。   |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 毎月行っている事業所の全体会議に必要に応じて代表者、本社の職員が参加することで、直接意見を聞く機会となっています。管理者としては面談や普段顔を合わせたタイミングにて職員の勤務状況について声をかけ、働き方への希望の確認を行っています。 | 職員からの意見は、面談の際や日常的なタイミングを見計らい勤務状況や希望の確認をしています。例えば、勤続年数が長くなった職員から身体の状態から勤務時間を短縮して働きたいとの希望がでた事例がありました。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 面談や普段顔を合わせたタイミングにて職員の勤務状況について声をかけ、働き方への希望の確認を行っています。   |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 本年度から会議内での研修の他、階層ごとの内容となったオンラインでの研修も実施しております。  |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 運営推進会議内に他事業所の方が参加して下さっています。管理者は本年度ケアマネ更新研修のタイミングであり、交流の機会となっていました。   |   |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |  |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご利用者様が心地よく住みやすい場所となるようにお話を伺っています。独居でご家族様との関係が薄いご利用者様があり、ごいつも以上にご本人様からの情報収集、生活習慣の確認を行っております。                |  |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | ご利用者様かどのようにお過ごしになっているのか写真入りのお便り、メッセージ等ご連絡しております。入居前に関係が希薄であったご家族様にも情報をご連絡して、少しずつ適度な距離での関係が出来てきているように思われます。 |  |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 自立支援を原則とし、ご本人様が行えることをスタッフ間で情報共有しています。ご本人様がお話になっている言葉を集めて支援に活かすようにしています。                                    |  |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 入居後に気の合う方との交流を通して心理的に穏やかな生活を送られている方がおります。食事作り等の家事でも出来ることをして下さるお気持ちになれるような関係づくりを行っています。                     |  |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 入居当初、ご家族様から情報をあまり送ってほしくないような言葉を頂いていたが、折に触れ、また事業所にお見え下さったタイミングで日々のご様子をお伝えして少しずつ協力して下さっています。                 |  |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 近隣にお住まいであった方が入居されており、使用されていたコンビニなど団地の商店街のお店などに行けるよう支援させて頂いています。  | 馴染みの人や関係が切れないよう支援しています。当施設の近くに居住していた利用者が、利用していたコンビニや団地の商店街に行くのを支援しています。年賀状が届いた利用者の返信書きを手伝ったりしています。 |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 一人だと乗り気にならないご利用者様が他の方がやっているならレクリエーション、外気浴等に参加して下さるご様子が見られております。  |  |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 入院から戻れる状況でない為他所へ移り退居となった方ともその後のやり取りをメッセージにておこなっていました。  |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 理念である「私が住みたいホーム」は、ご利用様本位であり、昔の思い出話などを伺った時には申し送りにて共有しています。  | 具体的には、誕生日が近づいたら「やりたいこと、食べたいもの」を聞いています。日常的には入浴のタイミングをさくもの、その例です。意向の把握の困難な利用者には、以前聞いていた希望や家族の意見を聞いて対応しています。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご入居の際にご本人様やご家族様に伺うのはもちろん、ケアマネにも確認して生活のご状況を確認しています。今年度ご入居になった方には独居で普段の暮らしが見えない方がおりましたがご本人様からのお話を集約しています。                                      |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | その方にとって心地よい過ごし方はどのようなものか考え、職員本位にならないように留意しています。歩行可能であったご利用者様が年末年始に肺炎にて入院され全介助として戻られたが、動きたいお気持ちが強い方であることからご本人様のお気持ちに合わせて動き手引き歩行で歩けるまでになっています。 |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ケアマネジャーのみならず介護スタッフにアセスメント、ご本人様の意向の確認をお願いして、それぞれの視点で意見を出してもらえるようにしています。   | ケアプランの作成にはケアマネ、介護スタッフ等があたりますが、家族にも意向の確認をします。意向の確認が困難な利用者の場合も同様です。見直しは短期プランや入、退院、疾病の変化の際などに行います。           |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 申し送りノート、ケース記録にて各自出勤時に確認するようにしております。申し送り時に話し合いをしてケアの工夫を実施し、実施結果を申し送る等しております。  |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 実施としてはこれからになるが今年度から社内の就労継続支援事業所のご利用者様と敷地内の活用をして野菜を育てる計画をしている。  |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|---|--|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 今年度から地域の夏祭りが再開しており、参加させて頂きました。   |   |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 入居時にこれまでの掛かりつけを継続するか、協力医療機関の利用をするかについてメリットデメリットをご説明しております。                             | 今年の入居者は、事業所での説明を聞いた結果、かかりつけ医を選択しています。本人の希望を酌んだ例として、利用者が薬をあまり飲みたくないとの希望があったのでその旨医師に伝え対応した事例があります。                          |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 週に1回看護師に来ていただき、ご利用者様の変化などについて共有し支援してもらっております。訪問診療時の看護師とも相談、アドバイスを頂いて適切なケアが行える様にしております。 |   |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 本年度は3回の入退院がありました。入院先の相談員等と連絡を取り退院後、早期にみかんでの生活に戻れるように支援しております。                          |   |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 食事が減っているといったご利用者様にあった変化についてはご家族様に報告をさせて頂き、必要に応じて医師から説明をして頂ける機会をもてるようにしております。           | 常時医療対応(経管栄養など)を必要、希望する場合について入居時に説明し、状態の変化があった場合には意向を確認しています。かかりつけ医が数年にわたり訪問診療を続けて下さっていますが、それは家族等の意向を事業所が大切にしてきた証だと思っています。 |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 事業所内の研修にて緊急対応を学び、分からないことをそのままにしないようフォローしています。<br>事故に対応する研修を1月に行いました。                   |   |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 定期的に行う避難訓練にて火災、地震などから身を守る訓練をしています。本年は防水害対策に関する研修も実施しました。                               | 災害対策としての避難訓練は定期的を実施しています。避難訓練では、火災通報装置、止水板などの機器等の使用方法について定期的に確認作業をすることの大切さを学びました。   |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |   |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 職員同士の業務連絡で個人名やケア内容が聞こえてしまいご利用者様のプライバシー侵害とならないよう配慮しております。本年度から開始になったオンライン研修でも実施しています。            | 職員は利用者のプライバシーの確保には十分注意をしています。例えば早番～遅番～夜勤への業務連絡は日々行っていますが、その際周囲の利用者に個人名やケア内容が聞かれないよう配慮しています。       |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 入浴のタイミングや、飲み物などご本人様に希望を伺いながらご支援しております。  |   |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 天気によっては外に出たい、眠たいといったご本人様のご要望にお応え出来るようにしています。  |   |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 整容について、お忘れになっている時にはそっとお声がけしたり、ご本人様が着たい衣服を選べるようにご提案しています。  |   |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 調理や盛り付け、後片付けをご利用者様と一緒にしております。普段は思いつかないご様子で聞かせいただけない献立についてイベントの時には何を召し上がりたいか時間を掛けて確認することにしてあります。 | 一人ひとりの好みに配慮しながら支援をしています。季節毎のイベント食や誕生月のお祝い食の際には個別の好みを聞いて対応しています。また、イベント食の際、ミキサー食の方にも食べやすい工夫をしています。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 水分チェックは常に行い、水分量が少ない方にはお好みに合わせ水分を提供しております。栄養状態については医師に相談して確認していただき必要に応じて栄養補助を処方していただいています。       |   |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後、口腔ケアが行えるようにお声がけ等必要な支援を行っております。普段訪問歯科が入っているご利用者様以外にも年に1度程度定期的に検診して頂いております。                   |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |   |
|----|------|---|---|--|---|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 排泄の間隔に合わせてお声がけなどのご支援しております。また、夜間に関しては睡眠の状態とも合わせて検討してご支援しております。  | 利用者の排泄パターンは排泄記録から把握しています。それに基づいて声かけをしているので、日中についてはオムツ内排泄、パット交換のみとなっている利用者はおらずリハパンか布パンで過ごしています。                         |   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | ご利用者様の排泄パターンを理解し、トイレでの排泄を行えるようにお声がけ等しています。牛乳等ご本人様の体質や希望に合わせて提供しております。                                 |  |   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | 入浴の間隔によってお声がけするようにしておりますが、ご希望や好みのタイミングをお話やご様子から把握して個別に支援しています。入浴剤をご用意してお伺いしております。                     | なるべく個人の希望に沿った入浴ができるように配慮はしています。概ね週3回程度の入浴を目標にしていますが、個人毎に曜日、入浴時間等が決まっているわけではありません。入浴を好まれる利用者は長めであったり、回数が多かったりする傾向があります。 |   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 横になりたい、疲れているといった様子に合わせて日中でも休んで頂けるようにお声がけしております。眠りに影響する日中の活動、夕方に入浴すると夜間ゆっくり眠れるといったその方の習慣や好みにも配慮しております。 |  |   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 朝昼夕就寝前の薬の配薬をファイルに貼付しておこなっていますが、そこに処方されているお薬の名前、効果を記載するとともに副作用として留意する点も記載しています。                        |  |   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 何か自分が役に立ちたいと思ってくださいているお気持ち、タイミングを大切に家事と一緒にやっている。  |  |   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 近隣のコンビニでの買い物を希望に沿って行っている。<br>また、お正月には元々お住まいになられていた辺りの神社をコースに取り入れドライブにて初詣の雰囲気を感じて頂いた。                  | 左記以外には、好天の日には、玄関先、庭などで飲み物を飲んだりして、外気浴を楽しんでいます。外出支援の際にボランティアは利用していません。   | 近隣の日常的な外出に限らず、普段は行けないような場所（お花見、紅葉狩りなど）への外出を企画することを期待します。ボランティアの力を借りるのも一つの方法かと思われます。 |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|--|--|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 買い物に行かれた際にはご自身でお支払いをして頂けるようにご支援しています。  |  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | ご来訪予定のお電話を頂いた際などはご本人様にもかわってお話をして頂いています。  |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 室内やリビングから目に入る庭に花を植え心地よい空間になるようにしております。また、季節ごとの行事にあわせた飾りつけもしております。                                      | リビングや庭など共用空間は季節を意識した工夫をしています。花壇は、利用者と共に球根の植え付けをしました。また、若いころ、菊を育てていた利用者に菊を植えたこともあります。               |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 場所が固定であることで過ごしやすくなる方、近くに気の合った方がいて欲しい方などその方のご様子に合わせて工夫しております。   |  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている   | ご家族様にご入居の際には出来るだけ使用されていた物をお持ちいただくようお願いしております。配置についても職員が決めるのではなくご本人様ご家族様と相談し、実際に住まれた後もご様子をお伝えして工夫しています。 | 全ての部屋が同じでないため均一に用意しているものではありません。ベット、布団等を用意したり、既存のものを利用しているものもあります。入居後ベットの位置を直すなど利用者が使いやすい工夫をしています。 |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 動線には物を置かないようにし、段差・トイレには目印や表示をつけて気付いてもらいやすいように工夫しております。   |  |                   |